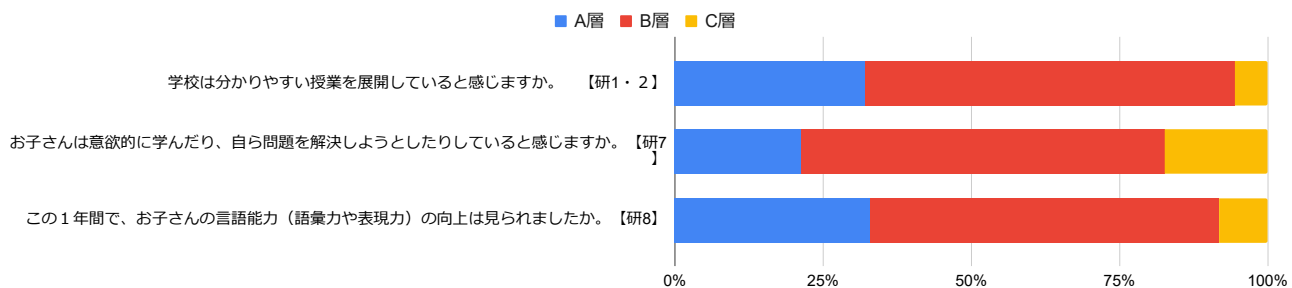


令和6年度 第2回学校評価アンケート(保護者アンケート)集計結果と分析

回答率については、5月回答時の234名(49%)から146名(30%)へと19ポイント近くの回答率減(家庭数で算出)となりました。次年度以降は保護者の方への周知や実施方法を改善・検討し改善することで、再び多くのご回答をいただき、教育活動の改善に生かしていけるようになっていきます。変わらぬご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

第2回保護者アンケート 1. 校内研究について

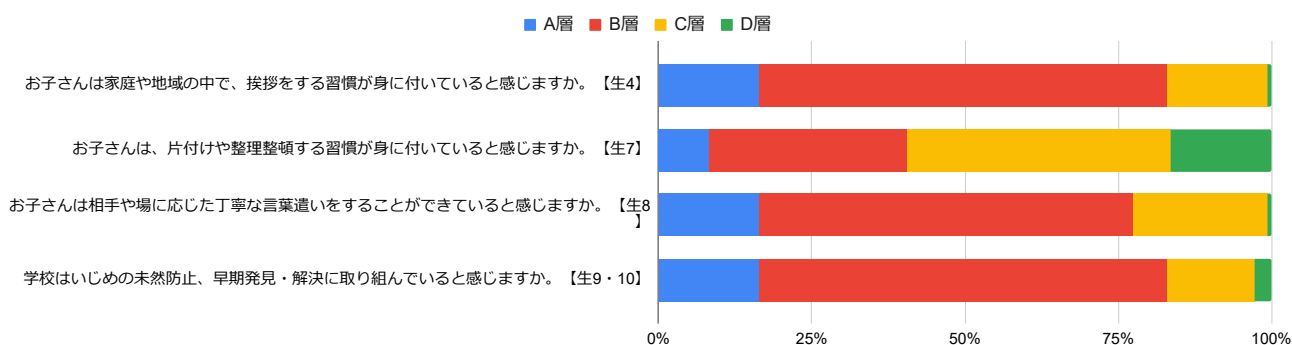


分かりやすい授業に関する項目(研究1, 2)につきましてはA層の回答率が31.6%から32.2%と0.6ポイントの上昇が見られます。肯定的回答自体は95%から94.5%と0.5ポイントの減少にとどまっています。校内研究の手だての一つとして「問いにかかわらせる工夫」や「ペアやグループでの交流活動」、「問い返しの言葉」などの実践を続けることで、本校教員の授業力が維持されていることが読み取れます。年2回実施した授業公開後のアンケートでは、保護者の皆様からいただいたご意見を参考にしつつ、よりよい授業へと教材研究や指導法の改善へとつなげていきます。今後も忌憚のないご意見をお寄せください。

問題解決の姿勢(研究7)につきましては、肯定的回答が76.5%から82.6%と大きく伸びています。4年生以上の保護者の方々は夏休みの自由研究に取り組むお子さんの様子などを通して、問題解決能力の向上を実感される機会が増えたのではないかと考えられます。家庭学習の内容を見直し、習熟的な学習以外に探究的な学習に取り組む機会を増やしていくことで、A層の回答率のさらなる上昇を目指していきます。

語彙力・表現力については、肯定的回答が1.2ポイント減少しました。本校では昨年度から、「言葉の宝箱」という国語の教科書の巻末にある獲得語彙の一覧表を活用し、学習感想やふり返りで積極的な使用を推進してきました。言葉の宝箱の活用場面を更に増やしていくことで、豊かな語彙力の醸成が期待できます。家庭学習や日常の場面でもすすんで新しい語句を活用した文章を書いていくことで、言語能力の向上を目指していきます。ぜひご家庭でも、新しい言葉を使おうと努力する場面を見かけましたら、称賛と励ましを続けていただければと思います。

保護者アンケート結果 2. 生活指導について



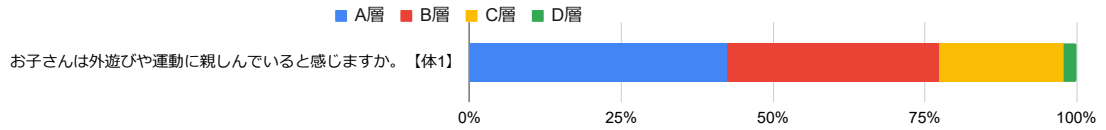
あいさつ習慣(生4)につきましては、A・B層が約83%でした。1回目と比較し、約1%ほど低い割合になりましたが、ほとんどの児童が、あいさつ習慣が身に付いていると言って良いと思われます。しかし、長期休業明けに、あいさつが少なくなる傾向があります。始業式の日が始まる前日など、ご家庭であいさつの声掛けをお願いいたします。また、学校では引き続き、毎月の「あいさつ運動」「あいさつ5項目チェック」を実施していきます。

整理整頓(生7)につきましては、A・B層が約40%でした。1回目と比較し、約3%ほど高い割合になりました。学校では清掃の時間を始め、お道具箱の整理整頓の時間を設けたり、靴のかかとそろえを強化したりして、整理整頓の定着を図っています。約3%ほど伸びましたが、引き続き指導をしていきます。ご家庭でもお声掛けの方、よろしくお願いいたします。

丁寧な言葉遣い(生8)につきましては、A・B層が約78%でした。1回目と比較し、約1%ほど高い割合になりました。ほとんどの児童が、丁寧な言葉づかいを心がけている割合ですが、C・D層の約22%の児童も、丁寧な言葉遣いを意識できるよう、道徳、学活、日常生活などで指導して行きます。ご家庭でも、よりよい言語環境の整備をよろしくお願いいたします。

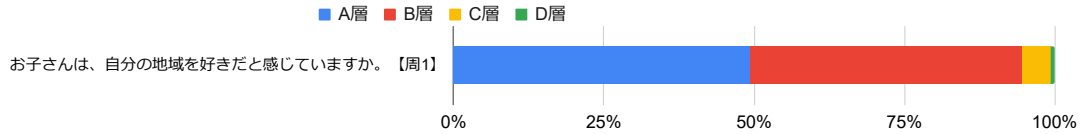
いじめ防止(生9・10)につきましては、A・B層が83%でした。1回目と比較すると約3%ほど高い割合になりました。学校では日頃の児童観察と併せ、6、11、2月に児童対象に「こまったことないかなアンケート」を実施しております。また、6、11月には児童対象「webQUアンケート」を実施しております。いずれのアンケートも児童の学校生活に対する困り感を把握するためのものです。また、児童や保護者からいじめの報告があった場合は、把握した日にいじめ対策委員会を開き、現状の把握や解決方法について話し合います。その結果をもとに、児童に聞き取りをしております。今後も実施していきます。ホームページには「いじめ防止基本方針」がアップされておりますので、そちらもご確認ください。

保護者アンケート結果 3. 体育について



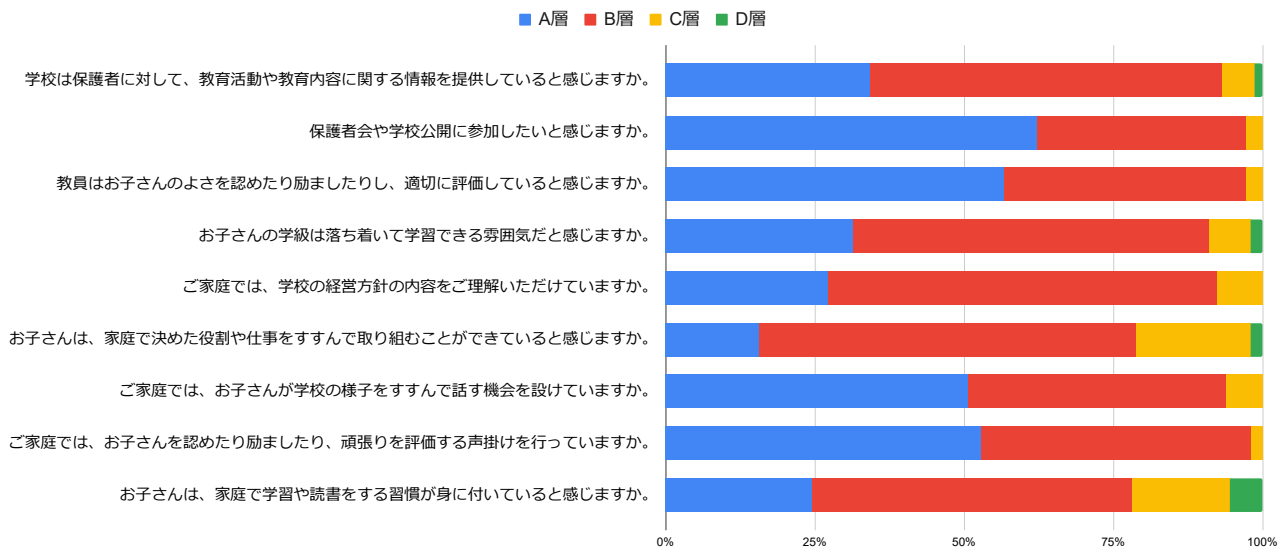
お子さんが運動に親しんでいると肯定的な意見が全体の8割程度でした。12月には60周年記念持久走旬間があり、みんなで校庭を走りました。積極的に参加し、楽しそうにカードを進めていた児童が多かったです。目標の60周を達成した児童も8割近くいました。1月～2月には、なわ跳び旬間もありました。長縄や短縄の目標をクラスや個人で設定し、休み時間もたくさんの児童が校庭に出て練習していました。今後も運動が楽しいと思える活動が増えるように休み時間や体育の時間等で意識していきます。

保護者アンケート 4. 周年行事について



児童が地域への愛着をもっているかという回答について、約9割近くの保護者が肯定的に感じていることが分かりました。それは、地域を生かした学習を行っていることを学校が発信していることで、保護者にも伝わっていることが考えられます。今後も地域に根ざした学習を行い、児童が地域への愛着をもてるように、授業を工夫していきます。また、外部への発信を大切にしていきます。

保護者アンケート 5. その他の項目



ホームページ更新の頻度が増えたため、学校からの情報提供に関する項目は前回比で0.4%上昇し、A層の解答率は2.6%上昇しています。今後もホームページや学年だよりを通して、お子さんの学校での様子が伝わるような活動報告を続けていきます。保護者会・学校公開への参加に関する項目は、肯定的回答が3.6ポイント上昇しています。また、学校経営方針のご理解についても、肯定的解答は前回比で3.6ポイント上昇しています。1月の道徳授業地区公開講座の参観率が2学期と比べて約20ポイント上昇していることから、保護者の皆様が本校の教育活動に高い関心を持っていらっしゃるということが分かります。今年度最後の保護者会も、ぜひよろしく願いいたします。

お子さんの家庭での様子につきましては、「家庭で決めた役割や仕事をすすんで取り組む」の項目が前回比で2.2ポイント上昇しています。また、「家庭で学習や読書をする習慣」の項目は、前回比で9.7ポイント上昇しています。肯定的解答の数値が大きく上昇した背景には、ご家庭で「お子さんを認めたり励ましたり、頑張りを評価する声掛けを行ったりする」と回答する保護者の方々が前回・今回ともに97%いらっしゃるということが関係していると言えます。保護者の方々から温かく見守られ、学びへの主体性を高めつつあるお子さんが、学校でも落ち着いて学習活動に参加できるよう、今後も学習環境の整備を継続していきます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。